

浜町芦崎新川地区(大分市) ～ 密集市街地の改善～

計画期間	平成17年度 ~ 26年度
面積	20.5 ha
全体事業費	9,950,000 千円
市人口	474,000人 (うち地区内1,700人)

まちづくりの目標

安心、安全、快適な街づくり

主な事業内容と事業費・事業期間

主な事業内容：
都市計画道路整備と併せた住環境整備、道路整備と併せた無接道住宅の解消

整備の目標
地震や火災、緊急時に対応できる道路整備を行い、安心して暮らせる基盤づくり
(消防活動困難区域の解消、延焼防火帯の形成)

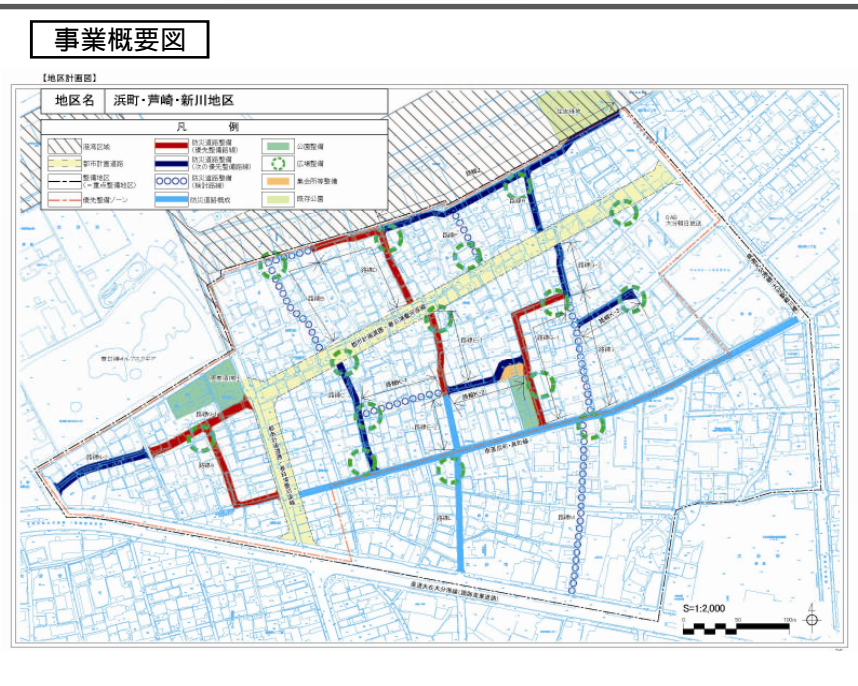
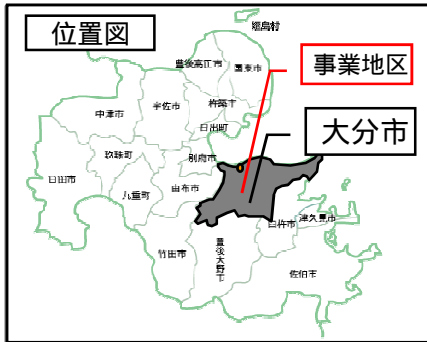
住宅の建替や公共施設の整備により、都心に近い利便性を活かした快適な暮らしが出来る住環境の向上

住民の自主的なまちづくりの仕組みや体制づくりによるコミュニティの維持再生

整備内容：都市計画道路、防災道路、生活道路、公園、小広場、下水道

事業期間：平成17年度～26年度

総事業費：9,950,000 千円



地区の歴史・風土

浜町・芦崎・新川地区は、大分駅より中央通を北に向かい別府湾に面する場所にあり、大分市の中心市街地まで約1kmと立地条件に優れた地区です。かつての海岸は砂浜で漁業者が多く住んだ地域でした。

昭和39年に大分市が新産業都市建設指定を受け、臨海部は工業地域として埋め立てられました。その際、砂浜部は魚網干し場として使用するために漁業関係者等に払い下げられ、それを契機に宅地化が進みました。



明治35年頃の大分市内
(大分県立図書館)

地区の現況と課題

車の利用ができないこと、住宅の建替えができないこと等により、子供世代の地区外転出による高齢化が急激に進んでいます。道路整備や住環境整備を通して、次世代とともに安心して暮らせるよう、地域の活力を回復することが必要とされています。

しかし、道路整備されてもなお、道路で囲まれた街区内に依然として接道条件の悪い敷地の密集状況が改善されず、一部の廃屋化した空き家等が取り残されるという問題が残ります。



空き家化が進む老朽戸建借家

事業取り組みと成果

住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）により、地区の背骨となる道路整備（都市計画道路（幅員18～19m））及び防災道路（幅員6～8m）が進捗中です。用地買収協議を完了した路線から道路整備を進めていきます。



用地買収・建築物の解体が完了

地区の主なイベント

毎年行われているのが恵美須神社の祭です。地元住民の方に住環境整備の検討経緯を伝え、関心を持っていただくとともに、事業に対する要望、問題点等を把握するため、まちづくりの歩みや整備計画等のパネル・模型等の展示による事業PRを開催しました。



恵美須神社の祭の日に合わせておこなわれた事業PRイベント

地区のまちづくり協議会・地域の活動

地区の代表者で構成される推進協議会を中心とし、住民全体から個々の地権者まで、説明会、懇談会、個別相談等を実施し、総論から各論までの合意形成を積み上げた上で「計画作成」、「事業実施」を図っています。



意見交換会



事業説明会

これからの取り組み

これまで培ってきた歴史や伝統を大事にし、人情豊かな町の良さを次世代に受け継ぎ多様な世代が支え合い、安心・安全で生き活きと誇りを持って住み続けられるまちづくりを目指して、大分市と協議会とが両輪の輪の如く事業を推進していきます。



完成イメージ

事業のお問い合わせ先

大分市 まちなみ整備課
住環境整備担当班

TEL 097-537-5637